

Rotary 高槻ロータリークラブ

2024~2025 WEEKLY BULLETIN



四つのテスト

- I 真実かどうか
- II みんなに公平か
- III 好意と友情を深めるか
- IV みんなのためになるかどうか

事務所 〒569-1116 高槻市白梅町 4-1 高槻阪急スクエア 6階
TEL 072-683-1158 **FAX** 072-683-1174
URL <http://www.takatsukirc.org/>
E-mail takatsuki.rc@bird.ocn.ne.jp
例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
例会場 高槻阪急スクエア 6階多目的ホール **TEL** 072-684-5379
創立 1954年6月15日
会長 内本繁 **幹事** 長井正樹 **クラブ運営委員長** 藤田貴子 **会報担当副委員長** 鮫島聖一

No.3 2024年7月24日 発行

7月は母子の健康月間

第3370回 本日(7/24)の例会

- ◎ ソング・・・それこそロータリー
- ◎ 委員会例会

第3371回 次週(7/31)の例会

- ◎ ソング・・・我等の生業
- ◎ 卓話 米山朱学生 呉 崧源君
「私の履歴書」
- ◎ 卓話 橋本 憲治君
「『國乃長』の新たなスタート」

先々週(7/10)の例会から

◎ゲスト・ビジター 計 0 名

◎出席報告

会員数	出席者数	出席率
44 名	37 名	88.10 %
前々回例会補正後出席率 90.70 %		
但し、Mup 4名 欠席者 4名		
出席規定適用免除有資格者 1名		



6月度皆出席表彰

松尾 浩 君	通算	11 年
井前 憲司君	連続	10 年
羽根田茂子君	通算	9 年
浦中 郁文君	連続	5 年
光本 智輝君	連続	1 年
三井 泰之君	連続	1 年

◎米山功労者表彰

石田 佳弘君 第3回米山功労者

◎会長の時間

7日の日曜日に2660地区米山奨学生学友会(関西)の2024年度米山総会及び新規奨学生歓迎会がKKRホテル大阪で総勢190名の参加者で開催されました。当クラブからは地区出向の中西さん、カウンセラーの石田さん、呉君と私の4人で参加してきました。さすがに若い人たちが企画・運営しているため受付から総会・懇親会まできっちりと且つ楽しく活気のある会でした。特に2660地区の関西学友会は全国的にも活発な活動をしていると大橋ガバナーや若林米山奨学会理事長からの挨拶にもありました。

1952年12月東京RCにより米山奨学制度が設立され、1957年9月に国内全クラブの合同事業となり「ロータリー米山記念奨学委員会」が設立、1967年7月当時の文部省の認可を得て「財団法人ロータリー米山記念奨学会」となり、その後、2012年1月公益法人制度改革に伴い、現在の「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」へ移行しました。

ロータリーのマジック

ステファニー A. アーチック RI 会長

その間、2023年度末までに131か国、23,509人の留学生に奨学金を支給し支援を行っています。今年度、当地区では41名の奨学生がいます。米山奨学会の特徴は国内で民間最大の国際奨学事業で2022-23年度の事業費は14億4012万円となっています。米山奨学会の特徴は奨学生を受け入れる世話クラブがあり、その世話クラブの会員がカウンセラーとなり奨学生の相談相手となる制度があります。

奨学生支援については設立当初から現在に至るまで社会的、国際的にも大きく変わってきていますが、奨学会では「将来母国と日本との懸け橋になって国際社会で活躍する優秀な留学生を支援する」ことを目的としています。留学生支援に対する人それぞれの考え方や価値観は違うと思いますが、今回の地区学友会の総会に参加し学友会の活動を見て、今の国際環境・国際情勢が維持されていることに成果はあるものと感じました。

今日は委員会例会です。本年度の各委員会の事業計画を発表していただきます。

私からは本年度の予算について若干の説明をさせていただきます。この予算は新クラブアssenブリー、新旧クラブアssenブリーで承認をいただいたものですので、新旧年度の委員長、副委員長の大方はご存じだと思います。

当クラブの会計はクラブ運営会計と慈善活動会計に分かれています。

クラブ運営会計はクラブを運営していくための固定経費やクラブを運営していくためのクラブ運営・クラブ組織・クラブ研修委員会の活動費に充てられ、主な収入は会費です。

また、慈善活動会計は奉仕活動に充てられ、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕に充てられ、主にニコニコ箱の寄付金が充てられています。

これらからわかるように、会員数の減少による会費収入の減少、またそれに伴う寄付金が減少することにより、クラブの運営や委員会活動が縮小せざるを得ない状況になってくることとなります。

併せて、これはどうしようもないことですが、ここ数年にわたって物価も高騰しており、運営上の経費が増えていることも実情としてあります。

こういう考え方は良くないと思いますが、会員数が減少しクラブ運営に支障をきたしてくれば会費の見直しも検討しなければならぬ時期がくるかもしれません。

今月号のガバナー月信にある各クラブの状況の中で、入会金と年会費の項目を見ますと高槻RCの年会費は低い方にあります。これは歴代の会長はじめ役員・会員各位の経費の見直しなどにより維持されてきたものであると思っております。お時間のある時に見ておいていただければと思います。

会員各位による会員増強やニコニコ箱へのご協力をお願いいたしますとともに、委員会活動へのご参加もよろしくをお願いいたします。



◎7/10 卓上花

ケイトウ…… おしゃれ・色あせぬ恋
アワ……… 生命力・調和

◎幹事報告

- ・7/17(水)は例会休会に伴い、事務局は休業致します。ご迷惑をお掛け致しますが宜しくお願い致します。

◎委員会報告

○社会奉仕委員会

浦中 郁文

- ・大阪府健康医療生活衛生室 薬務課 麻薬毒劇物グループより「薬物乱用防止『ダメ。ゼッタイ。』国連支援募金」のお願いが届いております。この募金活動は、公益財団法人 麻薬・覚せい剤乱用防止センターが実施しており、地球規模での薬物乱用防止に関する理解と認識を高めるとともに、善意の浄財を募り、開発途上国で薬物乱用防止活動に従事している民間団体の活動資金として国連を通じて支援致します。募金箱を回しますので、ご協力をお願い致します。

○クラブ研修委員会

羽根田 茂子

- ・ロータリー文庫運営委員会より「ロータリー文庫からのお願い」と「パスワード・利用方法のご案内」が届いており、7/2(火)に会員の皆様へメールにてご連絡しており、メールをされない会員の皆様へは7/3(水)の例会にて印刷して配布しております。ロータリー文庫は資料の電子化を終え、前年度より電子図書館として運営しており、今年も新たなユーザー名とパスワードを使って WEB サイトを通じて資料を公開しております。宜しくお願い致します。

◎委員会活動計画発表

○SAA

飯田 哲久

- ・スムーズな例会運営委に心掛け、出席率向上とニコニコほか、ドネーションを出して頂きやすい雰囲気作りを目指します。

○クラブ運営委員会

藤田 貴子

●基本方針

- ・多くの人々を救うロータリーの力を認識して、これを広げる活動を行う。
- ・親睦と奉仕を根幹として参加しやすいプログラムや行事を企画し、会報・広報を発信する。

●親睦活動

1. 年行事として
 - ・誕生記念・結婚記念・入会記念の披露・お祝を行う。
2. 年間行事として
 - ・夏秋の親睦行事、冬の親睦行事(忘年家族例会)、春の親睦行事を予定する。また、随時テーマを決めて親睦会を企画する。

●プログラム

1. 委員会例会を年4回程度行う。(テーマの共有と活動推進の為)
2. 卓話については出来るだけ多くの会員による卓話を構成する。また、様々な知識向上や外界との情報共有を目指し、出来るだけ外部卓話を行う。

●会報・広報

- ・ガバナー月信を配信し、地区の活動状況を伝える。
- ・週報はメール配信を基本とし、希望者にはプリントで配布。
- ・クラブの活動をHPにアップロード、ロータリーの友への寄稿を随時行う。

○クラブ組織委員会 西田 直弘

○現在の当ロータリークラブの会員数から純増2～3名増強を図る。

○退会者防止等の強化。

○入会希望者がいた場合、例会に出席願ひ、そのホスト役を務める。

1. 会員増強会議（年3～4回目標）
 - ・理事及び各委員会2名以上の出席の参加求む
2. 二人三脚例会開催（9月又は10月頃）
3. 入会向け資料作成・会員名簿作成（通年）
4. クラブ運営委員会の親睦活動と連絡を密にする

○クラブ研修委員会 羽根田 茂子

●R情報・雑誌

- ・ロータリーへの関心と理解を深めるために「ロータリーの友」の推奨記事を毎月第3例会に紹介する。
- ・高槻ロータリークラブの活動を「ロータリーの友」に投稿し、会員相互の理解を深める

●研修

1. 情報集会を年3～4回開催する。
 - ・地区委員会から講師をお招きして卓話をしていた
 - ・委員会ごとの炉辺会談を行う。
 - ・情報集会でファシリテーションを行い会員相互の理解を深める。
2. ロータリークラブに関する新たな情報を提供し今後変化していく状況を理解し高槻ロータリークラブのあるべき将来を協議する機会をもつ。
3. メンバーの交流を密にして活気あるクラブ造りの援助に努める。
4. 新入会員のオリエンテーションを行い、ロータリーの目的、義務、心構えなど重要な事項を説明する。
5. 新入会員の歓迎会を兼ねた情報集会をクラブ運営常任委員会と共催して行う。

●規定

- ・国際ロータリーの規定、規約の改定が行われた時はこれを適用し会員に周知する。

○職業奉仕委員会 入谷 治夫

1. 創業記念月のお祝いを行う。
2. 職業奉仕卓話とファシリテーションの実施。
1月の職業奉仕月間に職業奉仕卓話を行うことにより、会員への職業奉仕の理念、奉仕活動について理解を深めて頂き、その日の例会後にテーマを決めてグループ毎の討議を行う。
3. 職場見学を実施する。
単に職場や施設の見学ではなく、職業奉仕にふさわしい見学先を選定し見学する。
4. 優良従業員の表彰をする。
会員から優良従業員の推薦をしてもらい、職業奉仕に理念に基づき実践され、会社に貢献された従業員の方々を例会に招き表彰する。

○社会奉仕委員会 藤松 功治

- ・社会奉仕活動を通して公共イメージの向上に努める
- ・社会、地域で求められているニーズの調査
- ・市内の団体や組織との協働・連携による奉仕活動の検討及び実施

1. 献血活動への協力

高槻市薬剤師会、インターアクトクラブと共同で献血に協力したり、献血への協力を呼び掛けることで、献血活動を促進する。
医療技術が進歩した現在においても血液を人工的に作り出すことは難しく、その不足は輸血を待つ方々に大きく影響します。

安定した輸血用血液確保のため、出来る限り全員参加、ご協力をお願いします。

2. 高槻シティハーフマラソン支援活動
ポイントスタッフとしてコース上の警備及び負傷者の救護、又清掃活動を支援する。インターアクトにも協力を呼び掛ける。
3. いのちキラキラ食裁活動（本年度17年目の高槻市との共同事業）
高槻市立幼稚園において園児と保護者が一緒に野菜作りを体験する。土づくりから種植え、毎日の水やり、日々観察を通してお互いに野菜の成長を楽しみ、写生し、記録し、収穫し、その「いのち」を園や家庭で味わう等の「いのちキラキラ食裁活動」今後の継続事業としてのあり方の検証（高槻市立幼稚園の減少等）

○国際奉仕委員会 中西 美代子

●国際交流

- 既存の友好クラブ ブキビンタン RC との交流継続
- 姉妹クラブ トゥーンバ東 RC との交流を検討する
- マレーシア 母子健康維持プロジェクトへの協力
- 国際大会（カナダ カルガリー）への参加要請
- 万博へ向けての拡大例会への協力

●R財団

- R財団への理解を促し、1人当たり年次基金へ\$150以上、恒久基金へ\$30以上、ポリオプラス基金へ\$50以上の寄付を呼び掛ける

●米山奨学

- 米山奨学生のクラブ活動への参加と交流
- ロータリー運動を理解して頂き、日本と世界の「懸け橋」となる国際社会で活躍する人材育成をする
- 米山記念奨学会活動のPRして1人当たり30,000円以上の寄付を呼び掛ける

○青少年奉仕委員会 江澤 由

1. 学校・地区と連携を図り、高槻中学校・高等学校インターアクトクラブを支援サポートする。
特に地区が主催する行事に当委員会メンバーが参加すると共に、インターアクトクラブの例会や活動にロータリーメンバーの参加を促し、交流や親睦を深め協働して奉仕活動を実施する。また、必要に応じて適宜アドバイスを行うなどして、活動がスムーズに運営されるように努める。
- (2) 地区インターアクトクラブの主な年間計画
 1. インターアクト委員会
2024. 7. 3 第1回 IAC 委員会
2024. 10. 7 第2回 IAC 委員会
2025. 1. 27 第3回（新旧）IAC 委員会
2025. 5. 12 第4回（新旧）IAC 委員会
 2. インターアクト合同委員会
2024. 8. 28 第1回 IAC 合同委員会
2024. 10. 27 第2回 IAC 合同委員会
年次大会終了後
2025. 3. 3 第3回 IAC 合同委員会
未定 第4回 IAC 合同委員会
新入生歓迎会終了後
 3. その他年間スケジュール
2024. 7月中旬～下旬 研修旅行オリエンテーション
2024. 8. 1～4 研修旅行台湾（予定）
2024. 8. 31 クラブ青少年奉仕委員会合同委員会会議
2024. 10. 27 年次大会
2024. 11. 29～30 地区大会
2025. 3 活動報告書「スクラム」発行予定
2025. 5月下旬～6月上旬 新入生歓迎会

- (2) 高槻中学・高等学校インターアクトクラブの例会
毎週木曜日 15:30-16:30 に年数回出席する。
- (3) 当クラブの社会奉仕事業の活動内容に応じて、インターアクトクラブが参加して活動できるように配慮する。
2. 高槻中学・高等学校インターアクトクラブが行う事業において、協力出来ることなどがあれば適宜参加協力する。
3. 従来通り関西大学・大阪医科薬科大学医工薬連環科学教育研究機構の小・中学校の「自由研究コンテスト」への支援をする。
4. 子どもの居場所づくりプロジェクト（孤立・いじめ・不登校ゼロ）こどもの未来創造PT
阿武山小学校放課後子供教室運営委員会、阿武山小・中学校、土室小、社会福祉法人照治会、そして、平安女学院大学が連携しておこなう「子どもの居場所づくり事業」を支援する。また、子どもたちが地域コミュニティの大切さを学び、夢を育み、地域と共に成長する気概を持つことができるような「熱気球を活用した思い出に残る事業」をおこなう。加えて、本事業を高槻市内で広報し、市全体で子どもの居場所づくりの必要性、大切さについて学ぶ契機とする。

夏休み



◎ニコニコ箱報告

- ・入会記念内祝 白石君 (内本会長、長井幹事、1年間
よろしくお願ひします。)
- ・皆様、新入会員のご紹介名簿よろしくお願ひします。
長井君
- ・会員増強、委員会活動へのご参加よろしくお願ひいたします。
内本君

本日の合計	¥	20,000-
7/1 よりの累計	¥	190,000-

◎R 財団への寄付 (年次)

河合 一人君 ¥10,000- 白石 純一君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	15,000-
7/1 よりの累計	¥	70,000-
一人当たり平均		\$ 9.88

◎R 財団への寄付 (ポリオ)

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	15,000-
一人当たり平均		\$ 2.12

◎米山奨学会への寄付

内本 繁君 ¥ 5,000-

本日の合計	¥	5,000-
7/1 よりの累計	¥	155,000-
〔 会員より	¥	45,000-〕
〔 クラブより	¥	110,000-〕
一人当たり平均	¥	3,523-

◎青少年育成基金への寄付

本日の合計	¥	0-
7/1 よりの累計	¥	10,000-